

知的障がい教育における 教育課程の適切な実施に関する研究 (小学校特別支援学級)

-学びの連続性を踏まえた単元構成・授業づくりを通して-

《補助資料目次》

【資料1】学習指導案（9月の実践）	1
【資料2】ワークシート（9月の実践）	15
【資料3】ワークシートとノート（10月の実践）	15
【資料4】学習指導案（10月の実践）	16
【資料5】国語に関する実態把握	31

令和2年3月
岩手県立総合教育センター
長期研修生
所属校 盛岡市立向中野小学校
藤井未央

【資料1】学習指導案(9月の実践)

特別支援学級国語科学習指導案

日 時	令和元年9月11日(水)～9月18日(水)
対 象	盛岡市立向中野小学校 知的障がい特別支援学級 1年生～5年生 計5名
指導者	藤井 未央

1 単元名「お手紙を書こう」

2 単元について

(1) 児童観

児童は、助け合ったり協力し合ったりしながら生活しようとする意識が見られ、上級生を中心に、当番活動や生活上のルールを教え合う姿も見られるようになった。しかし、身辺自立や認知が課題の児童、会話や言葉によるコミュニケーションが課題の児童など、個々の課題が様々であり、学習面でも生活面でも個人差が大きい学級である。

これまで、国語科における「書くこと」の学習は、個別に進めることが多く、実態に合わせて平仮名や片仮名練習、漢字の練習などを行ってきた。児童は、繰り返し練習に取り組んでいるが、書字力は十分とは言えず、なぞり書きから字形を習得する段階の児童、曜日や数字など身近な漢字を練習する児童、教科書を参考に漢字の読み書きを練習する児童など、実態も様々である。また、作文や日記、手紙などの文章を書く学習については、書く内容について想像を膨らませるという機会は少なく、教師主導で進めてきた傾向がある。児童は、完成に向けて最後まで取り組むものの、「書くこと」に対する意欲を継続させることは課題である。このような実態から、個々の書字力を高めていくとともに、「書くこと」に興味をもち、意欲的に書き進められるような題材の設定や単元構成が必要と考える。

(2) 教材観

通常学級では、3学年上『ありがとう』をつたえよう』で手紙の書き方を学習する。誰にどんな「ありがとう」を伝えるかを考え、「初めのあいさつ」「本文」「結びのあいさつ」「後付け」の手紙の型に沿って書く学習である。また、手紙のやり取りについての教材は、2学年下で「お手紙」が扱われており、主人公と友人間でのやり取りを通して、手紙のよさにも触れることができる。丁寧な文字で書くことに関しては、教科の枠を越えて繰り返し指導することが大切であるが、書写の時間において2学年から手紙の書き方が取り上げられている。丁寧な文字は、相手に伝えるための手段の一つとして身に付けたい力である。電話やメールでのやり取りが多い現在であるが、手紙を書くことは、相手に伝えたいことをじっくり考えたり、文字を整えて書いたりする力を育成することにつながる。さらに、手紙を書いた経験は、今後も暑中見舞いや年賀状、お礼のお手紙を書くなど、日常生活においても生かされるものである。よって、支援学級においても、手紙を書く学習を意図的に位置付け練習の場を設ける必要があると考え、単元を設定した。手紙を書く活動が児童にとって必要感があり、自然に取り組めるものにするため、生活単元学習と関連させて学習を進める。

児童は、9月の敬老の日に合わせ、生活単元学習で「おじいちゃん・おばあちゃんを紹介しよう」を学習する。祖父母との関わりを振り返り、紹介カードを作成する。カードを基にお互いの祖父母を紹介し合い、家族を知るとともに大切さを感じてほしいと考える。その後、日頃の関わりや思い出を基にして、祖父母にありがとうの気持ちを伝える手紙を書く学習をする。この手紙を書く活動を国語科の学習に位置付け、書き方の練習を行いながら手紙を完成させる。完成した手紙は、生活単元学習の時間を使って、実際に投函に出かける予定である。

(3) 指導観

本単元の学習は、生活単元学習「おじいちゃん・おばあちゃんを紹介しよう」の内容と関連させ、手紙を書く単元である。国語科の学習として手紙の書き方を学んだり、用紙に合う文字の大きさと丁寧な書く練習をしたりして、自分の祖父母に宛てた手紙を書くことを最終的な目標とする。生活単元学習と関連していることから、手紙を完成させて投函するという最終的な目標を常に意識できるようにし、一単位時間の授業だけでなく、単元としての学習のまとまりを考え指導に当たる。

第一次では、手紙をやり取りした経験や関連図書の読み聞かせから、手紙を書くことのよさに触れる。また、教科横断的な視点から、手紙が届く仕組みを知らせて郵便ごっこを行い、手紙を書いてや

り取りすることへの関心を高めたい。手紙の本文に書く内容については、日頃の関わりや夏休みの思い出など、事前に聞き取ったことを示し、その中から自分が書きたいことを選んで書くようにする。さらに、実態に応じてそのときの詳しい様子や感想などを書き加えてもよいこととする。

第二次では、書く内容を整理し、「初めのあいさつ」「本文」「結びのあいさつ」「後付け」の手紙の形式に沿って書いていく。「初めのあいさつ」と「結びのあいさつ」は共通の文章とし、「結びのあいさつ」の中に、感謝の気持ちを表す文章を入れる。書く活動においては、児童の実態に合わせて書く量を調整したり、自分に合った行の幅で用紙を選んで書く練習をしたりする。また、手紙に書く内容は適切か、手紙の型にあっていないか、文字は正しく丁寧に書くことができているかなど、課題を明確にして学習を進めていきたい。

(4) 研究との関わり

知的障がい特別支援学級で行われている国語の学習は、教科として行ったり、日常生活の指導や生活単元学習などの合わせた指導と関連付けて行ったりしている。どちらの場合であっても、一斉指導の中で個に応じた目標・内容の設定と、目標達成に向けた支援の在り方が重要である。今回の実践は、生活単元学習と関連付けた国語科であり、国語科の目標を達成するとともに、実生活と結びつき日常生活で活用できる力を育成することが大切であるとする。

単元に関わる児童の実態把握を、研究の手立て2で作成した指導内容一覧表を活用して行う。児童の実態把握を受け、目標と内容を設定する際は、指導内容一覧表と系統表を活用して行う。特別の教育課程や、知的障がい特別支援学校との学びの連続性を取り入れた授業が、生活に生きる知識及び技能の習得につながったか本単元を通して見取することを目的とする。

3 「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力（書くこと）」に関する児童の実態

		指導内容	段階・学年	児童A	児童B	児童C	児童D	児童E
知識及び技能	言葉の特徴	(1) キ丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れること。	1・2年		★		○	★
		(1) キ丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。	3・4年				★	
		(1) キ日常よく使われる敬語を理解し使い慣れること。	5・6年					
	言語文化	イ(ウ) ㉗いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ること。	1段階	◎	◎	◎	◎	◎
		イ(ウ) ㉗いろいろな筆記具を用いて、書くことに親しむこと。	2段階	◎	◎	◎	◎	◎
		ウ(ウ) ㉗目的に合った筆記具を選び、書くこと。	3段階		○		○	
		(3) ウ(ア) 【書写】姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書くこと。	1・2年		○		○	
		(3) ウ(ア) 【書写】文字の組立て方を理解し、形を整えて書くこと。	3・4年				★	
		(3) ウ(ア) 【書写】用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めるとともに、書く速さを意識して書くこと。	5・6年					
		イ(ウ) ㉘筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ること。	1段階	◎	◎	◎	◎	◎
		イ(ウ) ㉘写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付けること。	2段階	○	○	○	○	○
		ウ(ウ) ㉘姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くこと。	3段階	★	○	★	○	○
		(3) ウ(イ) 【書写】点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くこと。	1・2年		★		○	★
		(3) ウ(イ) 【書写】漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。	3・4年					
		思考力、判断力、表現力等	書くこと	ア身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすること。	1段階	◎	◎	◎
ア経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすること。	2段階			★	○	★	◎	○
ア身近で見聞きしたり、経験したりしたことについて書きたいことを見付け、その題材に必要な事柄を集めること。	3段階				★		◎	★
ア経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。	1・2年						★	
ア相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。	3・4年							
ア目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。	5・6年							

◎：十分達成 ○：概ね達成 ★：本単元で目指す内容

4 単元の見目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学習に向かう力、人間性等
丁寧な言葉を使い、文字の形を整えて書くことができる。	「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。	手紙のやり取りに興味をもち、進んで書こうとしている。

5 見目標と児童の学習の状況

児童	本単元の見目標 【段階・学年】			㊦学習に向かう様子（日常） ㊧困難の要因 ㊨予想される困難と支援の方向性
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学習に向かう力、人間性等	
児童A	【3段階】 平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。	【2段階】 「書くこと」において、経験したことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。	手紙のやり取りに興味をもち、進んで書こうとしている。	㊦集中に欠けることがあるが、学習には意欲的である。 ㊧課題の量が多い。 ㊨なぞり書きを入れるなど、書く量や行の幅を調整する。
児童B	【1・2年生】 丁寧な言葉を使いながら、文字を正しく丁寧に書くことができる。	【3段階】 「書くこと」において、見聞きしたことや経験したことについて書きたいことを見付け、題材に必要な事柄を集めることができる。	手紙のやり取りに興味をもち、最後まで丁寧に書こうとしている。	㊦自分の考えに自信がもてず活動が止まってしまうことがあるが、学習には意欲的である。 ㊧口頭での指示内容の理解が苦手である。自己決定して学習を進めることが苦手である。 ㊨視覚に訴える掲示や板書をする。書く内容を選ぶことで、自己決定の場を設ける。
児童C	【3段階】 平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。	【2段階】 「書くこと」において、経験したことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。	手紙のやり取りに興味をもち、進んで書こうとしている。	㊦集中に欠けることがあるが、学習には意欲的であり、既習の内容であれば自力で進めることができる。 ㊧課題の量が多い。進め方や順番にこだわりがある。 ㊨書く量を調整する。興味を引き出す活動を取り入れる。
児童D	【3・4年】 敬体と常体の違いに注意しながら、文字の形を整えて書くことができる。	【1・2年生】 「書くこと」において、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。	手紙のやり取りに興味をもち、自分の力で最後まで書こうとしている。	㊦途中で丁寧に欠け、文字が雑になることがあるが、下級生に教えたり、意欲的に発言したりすることができる。 ㊧学習に見通しをもつことができず、じっくり取り組むことが苦手である。 ㊨お手本を示し、完成の型や丁寧な文字を意識できるようにする。
児童E	【1・2年生】 丁寧な言葉を使いながら、文字を正しく丁寧に書くことができる。	【3段階】 「書くこと」において、見聞きしたことや経験したことについて書きたいことを見付け、題材に必要な事柄を集めることができる。	手紙のやり取りに興味をもち、最後まで丁寧に書こうとしている。	㊦新しい学習には消極的であるが、繰り返し学習には意欲的である。 ㊧課題の難易度に左右される。進め方にこだわりがある。 ㊨学習の流れや1単位時間ごとのゴールを明らかにし、意識を高める。スモールステップで学習を進める。

6 単元の指導計画

各時間の主な学習内容					
評価規準【評価の場面】					
時	児童A	児童B	児童C	児童D	児童E
1	郵便ごっこを通して、手紙を書くことに意欲をもつ。				
	主体的に学習に取り組む態度 読み聞かせを聞いたり郵便ごっこをしたりすることを通して、手紙を書くことに興味をもとうとしている。 【発言】【郵便ごっこ】	主体的に学習に取り組む態度 読み聞かせを聞いたり郵便ごっこをしたりすることを通して、手紙を書くことに興味をもとうとしている。 【発言】【郵便ごっこ】	主体的に学習に取り組む態度 読み聞かせを聞いたり郵便ごっこをしたりすることを通して、手紙を書くことに興味をもとうとしている。 【発言】【郵便ごっこ】	主体的に学習に取り組む態度 読み聞かせを聞いたり郵便ごっこをしたりすることを通して、手紙の役割に興味をもとうとしている。 【発言】【郵便ごっこ】	主体的に学習に取り組む態度 読み聞かせを聞いたり郵便ごっこをしたりすることを通して、手紙を書くことに興味をもとうとしている。 【発言】【郵便ごっこ】
2	試し書きをして困ったことや直したいことを話し合い、完成に向けて課題を明らかにする。				
	主体的に学習に取り組む態度 進んで書こうとし、教師と一緒に課題を考えようとしている。 【発言】【試し書き】	主体的に学習に取り組む態度 進んで書こうとし、完成させるための課題を考えようとしている。 【発言】【試し書き】	主体的に学習に取り組む態度 進んで書こうとし、教師と一緒に課題を考えようとしている。 【発言】【試し書き】	主体的に学習に取り組む態度 進んで書こうとし、完成させるための課題を考えようとしている。 【発言】【試し書き】	主体的に学習に取り組む態度 進んで書こうとし、教師と一緒に課題を考えようとしている。 【発言】【試し書き】
3	手紙に書きたい内容を整理する。				
	思・判・表 経験したことを思い出し、写真などを手掛かりにし、相手を意識して書きたい内容を教師と一緒に考えることができる。 【発言】【カード】	思・判・表 経験したことを思い出し、相手を意識して書きたい内容を考えることができる。 【発言】【カード】	思・判・表 経験したことを思い出し、写真などを手掛かりにし、相手を意識して書きたい内容を教師と一緒に考えることができる。 【発言】【カード】	思・判・表 経験したことを思い出し、相手を意識して書きたい内容を考えることができる。 【発言】【カード】	思・判・表 経験したことを思い出し、相手を意識して教師と一緒に書きたい内容を考えることができる。 【発言】【カード】
4	手紙を書く練習をする。				
	知・技 平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書いている。 【練習用紙】	知・技 丁寧な言葉を使うとともに、文字を正しく丁寧に書いている。 【練習用紙】	知・技 平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書いている。 【練習用紙】	知・技 敬体を使うとともに、文字の形を整えて書いている。 【練習用紙】	知・技 丁寧な言葉を使うとともに、文字を正しく丁寧に書いている。 【練習用紙】
5	清書して封筒に入れ、手紙を完成させる。				
	知・技 平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書いている。 【清書】	知・技 丁寧な言葉を使うとともに、文字を正しく丁寧に書いている。 【清書】	知・技 平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書いている。 【清書】	知・技 敬体を使うとともに、文字の形を整えて書いている。 【清書】	知・技 丁寧な言葉を使うとともに、文字を正しく丁寧に書いている。 【清書】

7 展開 (全5時間)

(1) 1 / 5時 [主体的に学習に取り組む態度] 手紙を書くことに興味をもつことができる。

学習活動 (時間)	・学習内容 ○指導上の留意点 ☆教師の支援 評価				
	児童A	児童B	児童C	児童D	児童E
1 単元の見通しをもつ。 (3分)	○単元計画表を見ながら確認できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px 0;">郵便ごっこをしよう。</div>				
2 手紙が届く仕組みを知る。 (5分)	○手紙を書く→切手を貼る→ポストに投函する→郵便局で分類される→配達されるという仕組みを知らせる。				
3 郵便ごっこをする。(15分)	○手紙が届くまでを体験できるようにする。ローテーションで、どの役も体験できるようにする。 ・手紙を投函する人、郵便局の人、受け取る人に分かれて体験する。				
4 手紙の役割を話し合う。 (10分)	☆教師や上級生と一緒に活動しながら体験できるようにする。 [評]手紙のやり取りに興味をもっている。	迷ったときは、手順カードを見るか、上級生に教えてもらうように促す [評]手紙のやり取りに興味をもっている。	☆教師や上級生と一緒に活動しながら体験できるようにする。 [評]手紙のやり取りに興味をもっている。	必要に応じて手順カードを見ながら活動できるようにする。下級生に教えるよう促す。 [評]下級生に教えるなど友達と関わりながら郵便ごっこをして、手紙のやり取りに興味をもっている。	手順カードを見ながら活動できるようにする。下級生に教えるよう促す [評]下級生に教えたり友達からアドバイスを受けたりしながら郵便ごっこをして、手紙のやり取りに興味をもっている。
	・手紙の役割について考え、発表する。 ○郵便ごっこの体験からも考えられるようにする。				
	☆友達の発表を聞いて、手紙は何のために書くのか知ることができるようにする。もらった時の気持ちにも触れる。	☆観点を示し、手紙は何のために書くのか考えられるようにする。もらった時の気持ちにも触れるようにする。	☆友達の発表を聞いて、手紙は何のために書くのか知ることができるようにする。もらった時の気持ちにも触れる。	☆観点を示し、手紙は何のために書くのか考えられるようにする。もらった時の気持ちにも触れるようにする。	☆友達の発表を聞いて、手紙は何のために書くのか知ることができるようにする。もらった時の気持ちにも触れる。

5 関連図書の読み聞かせを聞く。(5分)	手紙のやり取りについて、興味を深められるように、絵本の読み聞かせをする。 ・「てがみがくるくる」の読み聞かせを聞く。感想を交流する。				
	あらすじについて確認し、感想をもてるようにする。	必要に応じて観点を示し、どの場面が心に残ったか具体的に示した感想を発表できるようにする。	あらすじについて確認し、感想をもてるようにする。	必要に応じて観点を示し、どの場面が心に残ったか具体的に示した感想を発表できるようにする。	必要に応じて観点を示し、どの場面が心に残ったか具体的に示した感想を発表できるようにする。
6 学習のまとめをする。(2分)	○郵便ごっこでやり取りしたことや読み聞かせを振り返り、手紙の役割についてまとめる。 評手紙を書くことに興味をもっている。 手紙は、伝えたいことを文字で書いて伝えることができる。 ・自己評価をする。友達のよかったところやがんばったことを振り返る。				
7 学習の振り返りをする。(5分)	○学習のまとめから、感想をもつことができるようにする。				
	カードに○を付け、自己評価する。 ☆感想を教師と話し合う。	カードに○を付け、自己評価し、感想も書く。	カードに○を付け、自己評価する。 ☆感想を教師と話し合う。	カードに○を付け、自己評価し、友達のよさにも触れた感想を書く。	カードに○を付け、自己評価する。 ☆友達のよかったところや感想を教師と話し合い、簡単に書く。
・振り返りを発表する。 ○今日の学習を通して分かったことや、がんばったことを紹介し賞賛する。					

(2) 2 / 5 時 [主体的に学習に取り組む態度] 手紙のやり取りに興味をもち、進んで書くことができる。

学習活動 (時間)	・学習内容 ○指導上の留意点 ☆教師の支援 評価				
	児童A	児童B	児童C	児童D	児童E
1 前時までの学習を振り返り、本時の学習内容を知る。(2分)	○単元計画表を見ながら確認できるようにする。				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">手紙を書いてみよう。</div>				
2 手紙を書いてみる。(20分)	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の関わりや夏休み中の思い出をふり返り、手紙に書きたい内容を考える。 ○事前に聞き取った内容を提示し、考えられるようにする。 ○今の自分の力で書いてみるように促す。本時は手紙が完成しなくてよいことを伝える。 				
	評教師と一緒に、最後まで書こうとしている。	評進んで、最後まで書こうとしている。	評教師と一緒に、最後まで書こうとしている。	評相手を意識した内容を考え、最後まで書こうとしている。	評相手を意識した内容を考え、最後まで書こうとしている。
3 困ったことや直したいことを発表する。(15分)	<ul style="list-style-type: none"> ○手紙を書いてみて、困ったことや直したいことを問う。 ○次時からの課題として、内容面と文字の書き方の2つに整理する。 				
	☆書いた手紙を見ながら教師と一緒に考える。	☆観点を示し、困ったことと直したいところを問う。	☆書いた手紙を見ながら教師と一緒に考える。	☆何が困ってどこを直したいのか具体的に問う。必要に応じて観点を示す。	☆観点を示し、困ったことと直したいところを問う。

<p>4 学習のまとめ をする。 (3分)</p>	<p>○各自が課題と感じたことを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>手紙を書くためには、①書くことを整理するとよい。 ②字をきれいに書くとよい。</p> </div> <p>○次時は、手紙の書き方を知り、もう一度書く内容を考えて整理することを伝える（まとめ①について解決する）。</p>									
<p>5 学習の振り返り をする。 (5分)</p>	<p>・自己評価をする。友達のよかったところやがんばったことを振り返る。</p> <p>○手紙を書いてみての感想や、友達の発言を聞いて思ったことなどから、本時を振り返られるようにする。</p> <table border="1" data-bbox="398 542 2056 790" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; padding: 5px;"> <p>カードに○を付け、自己評価する。 ☆感想を教師と話し合う。</p> </td> <td style="width: 20%; padding: 5px;"> <p>カードに○を付け、自己評価する。感想を簡単に書く。</p> </td> <td style="width: 20%; padding: 5px;"> <p>カードに○を付け、自己評価する。 ☆感想を教師と話し合う。</p> </td> <td style="width: 20%; padding: 5px;"> <p>カードに○を付け、自己評価する。友達のよさにも触れた感想を考え、簡単に書く。</p> </td> <td style="width: 20%; padding: 5px;"> <p>カードに○を付け、自己評価する。 ▽友達のよかったところや感想を教師と話し合い、簡単に書く。</p> </td> </tr> </table> <p>・振り返りを発表する。</p> <p>○今日の学習を通して分かったことや、がんばったことを紹介し賞賛する。</p>					<p>カードに○を付け、自己評価する。 ☆感想を教師と話し合う。</p>	<p>カードに○を付け、自己評価する。感想を簡単に書く。</p>	<p>カードに○を付け、自己評価する。 ☆感想を教師と話し合う。</p>	<p>カードに○を付け、自己評価する。友達のよさにも触れた感想を考え、簡単に書く。</p>	<p>カードに○を付け、自己評価する。 ▽友達のよかったところや感想を教師と話し合い、簡単に書く。</p>
<p>カードに○を付け、自己評価する。 ☆感想を教師と話し合う。</p>	<p>カードに○を付け、自己評価する。感想を簡単に書く。</p>	<p>カードに○を付け、自己評価する。 ☆感想を教師と話し合う。</p>	<p>カードに○を付け、自己評価する。友達のよさにも触れた感想を考え、簡単に書く。</p>	<p>カードに○を付け、自己評価する。 ▽友達のよかったところや感想を教師と話し合い、簡単に書く。</p>						

(3) 3 / 5時 [思考力, 判断力, 表現力等] 書く内容を考え, 伝えたいことを明確にもつことができる。

学習活動 (時間)	・学習内容 ○指導上の留意点 ☆教師の支援 評価				
	児童A	児童B	児童C	児童D	児童E
1 前時までの学習を振り返り, 本時の学習内容を知る。(2分)	○単元計画表を見ながら確認できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">お手紙を もっとよくしよう。</div>				
2 手紙に書く内容を確認める。(15分)	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の関わりや夏休みの思い出, 前時に書いた内容を振り返り, 書きたい内容を確認める。 ○事前に聞き取った内容を提示し, その中から選んでもよいことを知らせる。 				
	☆教師と一緒に考える。 書く作業は教師がおこなってもよいこととする。 評伝えたいことを思い浮かべている。	☆自分で選ぶよう促す。 何が楽しみか, 何をがんばりたいかなど一言加えられるように観点を示す。 評必要な事柄を集めたり確かめたりして, 伝えたいことを明確にしている。	☆教師と一緒に考える。 書く作業は教師がおこなってもよいこととする。 評伝えたいことを思い浮かべている。	☆自分で選ぶよう促す。 何が楽しみか, 何をがんばりたいかなど一言加えられるように促す。 評必要な事柄を集めたり確かめたりして, 伝えたいことを明確にしている。	☆教師と一緒に考えるようにする。書く作業は自分で行うように声をかける。 評経験したことについて書きたいことを見付け, 伝えたいことを明確にしている。
3 手紙の書き方を知る。(5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・「初めのあいさつ」「本文」「終わりのあいさつ」「後付け」の4つのまとまりで書くことを知る。 ○手紙のお手本を提示し手紙の基本型を知らせる。 				
4 あいさつ文を考える。(10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・祖父母へ向けた初めと終わりのあいさつを考える。 ○例を挙げ, 話し合いながら決めるようにする。 				

5 短冊を並び替え、次時のお手本をつくる。(6分)	☆教師と一緒に並び替えるようにする。	☆手紙の基本型を参考に、自分で並び替えるよう声をかける。	☆教師と一緒に並び替えるようにする。	☆手紙の基本型を参考に、自分で並び替えるよう声をかける。	☆最初は、自力で取り組み、必要に応じて教師と一緒に並び替えるよう声をかける。
6 学習のまとめをする。(2分)	<p>○4つのまとまりで書くとよいことをまとめる。</p> <p>○次時は、文面を整えることについて学習することを伝える(2時のまとめ②について解決する)。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">4つのまとまりで書くとよい。</div> <p>・自己評価をする。</p>				
7 学習の振り返りをする。(5分)	○書く内容を明確にすることができたか、次時で使えるように、短冊を並べ替えてお手本を作ることができたか振り返るようにする。				
	カードに○を付け、自己評価する。 ☆感想を教師と話し合う。	カードに○を付け、自己評価する。観点を示し、感想を簡単に書く。	カードに○を付け、自己評価する。 ☆感想を教師と話し合う。	カードに○を付け、自己評価する。観点を示し、感想を簡単に書く。	カードに○を付け、自己評価する。 ☆感想を教師と話し合う。
	<p>・振り返りを発表する。</p> <p>○今日の学習を通して分かったことや、がんばったことを紹介し賞賛する。</p>				

(4) 4 / 5 時 [知識・技能] 丁寧な言葉を意識して使い、文字の形を整えて書くことができる。

学習活動 (時間)	・学習内容 ○指導上の留意点 ☆教師の支援 評価				
	児童A	児童B	児童C	児童D	児童E
1 前時までの学習を振り返り、本時の学習内容を知る。(2分)	○単元計画表を見ながら確認できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> きれいな字で、手紙を書く練習をしよう。 </div>				
2 三つの手紙を比べ、読みやすさを考える。(5分)	○大きさが整わない文字で書いている手紙、行からはみ出して書いている手紙、行に合わせて丁寧に書いている手紙を例に出し、読みやすさを比べられるようにする。 ・もらってうれしい手紙、読みやすい手紙はどれか考える。 ○読みやすい手紙にするためには、行に合わせることを確認する。				
3 自分に合った用紙を選び、書く練習をする。(20分)	○行間が違う用紙を数種類用意し、選べるようにする。用紙が自分に合わない場合は選び直してよいことを確認する。 ○丁寧な言葉を使うことや、書いたら見直し、間違いがあったら直すことを確認する。				
	☆用紙を一緒に選ぶ。 ☆書く量を調整できるよう、なぞり書きできる用紙や部分的に書くことができる用紙も用意する。 評価 教師と一緒に書く練習をしている。 評価 丁寧に書いている。	☆用紙を選ぶ際はアドバイスをするが、自分で選ぶよう声をかける。 ☆前時に並べた短冊を参考に書くことを確認する。 評価 「です」「ます」を使っている。 評価 文字を正しく書いている。	☆用紙を一緒に選ぶ。 ☆書く量を調整できるよう、なぞり書きできる用紙や部分的に書くことができる用紙も用意する。 評価 教師と一緒に書く練習をしている。 評価 丁寧に書いている。	☆用紙を選ぶ際はアドバイスをするが、自分で選ぶよう声をかける。 ☆前時に並べた短冊を参考に書くことを確認する。 評価 文中の言葉を敬体にして書いている。 評価 文章を見直しながらか書いている。	☆用紙を一緒に選ぶ。 ☆書く量を調整できるよう、なぞり書きできる用紙や部分的に書くことができる用紙も用意する。 評価 「です」「ます」を使っている。 評価 字形を整えることに気を付けて書いている。

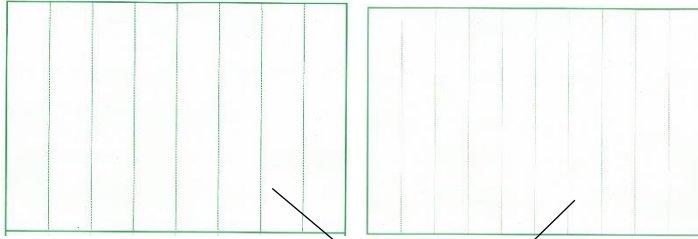
4 書いたものを見合い、感想を発表する。 (8分)	○書いた手紙を掲示し、見合うことができるようにする。文章の内容ではなく、文面の見やすさに注目することを確認する。 ・友達が書いた手紙を見て、相手が見やすいように書いていると思う所を見つける。				
	☆見やすいと思う手紙を選ぶよう声をかける。	・見やすいと思う手紙を選び、感想を発表する。	☆見やすいと思う手紙を選ぶよう声をかける。	・見やすいと思う手紙を選び、理由も付けて感想を発表する。	☆見やすいと思う手紙を選び、感想を発表するよう声をかける。
5 学習のまとめをする。 (5分)	○次時は清書をするを伝え、本時の学習を踏まえて自分が気を付けたいことを明確にもてるようにする。 ・清書で気を付けたいことを考えて、学習のまとめとして発表する。				
	☆書いたものを見ながら、教師と一緒に考えるようにする。 ・気を付けたいことを一つ発表する。	・気を付けたいことを一つ発表する。	☆書いたものを見ながら、教師と一緒に考えるようにする。 ・気を付けたいことを一つ発表する。	・気を付けたいことを一つ発表する。	☆書いたものを見ながら、教師と一緒に考えるようにする。 ・気を付けたいことを一つ発表する。
6 学習の振り返りをする。 (5分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ぼくの(わたしの)紙は、○番です。 次は、~~~~に気を付けて書きたいです。 </div>				
	カードに○を付け、自己評価する。 ☆感想を教師と話し合う。	カードに○を付け、自己評価する。観点を示し、感想を簡単に書く。	カードに○を付け、自己評価する。 ☆感想を教師と話し合う。	カードに○を付け、自己評価する。観点を示し、感想を簡単に書く。	カードに○を付け、自己評価する。 ☆感想を教師と話し合う。
	・振り返りを発表する。 ○今日の学習を通して分かったことや、がんばったことを紹介し賞賛する。				

(5) 5 / 5 時 [知識・技能] 丁寧な言葉を使い，文字の形を整えて書くことができる。

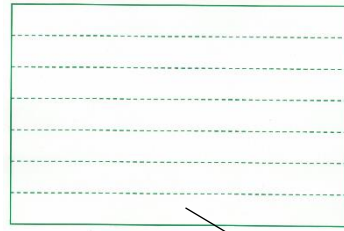
学習活動 (時間)	・学習内容 ○指導上の留意点 ☆教師の支援 評価				
	児童A	児童B	児童C	児童D	児童E
1 前時までの学習を振り返り，本時の学習内容を知る。(2分)	○単元計画表を見ながら確認できるようにする。 手紙を完成させよう。				
2 手紙の清書をする。(12分)	○前時を振り返り，清書するときに気を付けたいことを確認する。 ・清書で使う用紙と，気を付けたいことを確認する。 ・前時に書いたものをお手本にし，より丁寧にきれいな文字で書くことを意識しながら清書する。				
	☆途中になぞり書きなども入れながら書く量を調整する。 評価最後まで丁寧に書いている。	評価文末に敬体を使って書いている。 評価最後まで丁寧に書いている。	☆途中になぞり書きなども入れながら書く量を調整する。 評価最後まで丁寧に書いている。	評価敬体を使って書いている。 評価最後まで，丁寧に書いている。	☆書く内容がお手本と合っているか確認する。 評価文末に敬体を使って書いている。 評価最後まで丁寧に書いている。
3 書いた手紙を発表し，感想を交流する。(12分)	・清書した手紙をみんなの前で発表する。友達の発表を聞いて，よいと思った内容について交流する。				
	☆清書してみたの感想を教師と一緒に考えるようにする。	☆ヒントカードから観点を選ぶように促す。	☆清書してみたの感想を教師と一緒に考えるようにする。	☆必要に応じてヒントカードを与えるようにする。	☆ヒントカードから観点を並び，教師と一緒に考えるようにする。

<p>4 封筒の書き方を知り，宛名を書く。 (12分)</p>	○宛名の書き方のお手本を示し，実態に応じて書くことができるようにする。				
	<ul style="list-style-type: none"> ・相手と自分の名前を書く。 ☆住所は教師が書いて，所定の位置に貼ることができるようにする。 ・切手を所定の位置に貼る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の名前，自分の住所と名前を書く。 ☆相手の住所は教師が書いて，所定の位置に貼ることができるようにする。 ・切手を所定の位置に貼る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手と自分の名前を書く。 ☆住所は教師が書いて，所定の位置に貼ることができるようにする。 ・切手を所定の位置に貼る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の住所と名前，自分の住所と名前を書く。 ・切手を所定の位置に貼る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手と自分の名前を書く。 ☆住所は教師が書いて，所定の位置に貼ることができるようにする。 ・切手を所定の位置に貼る。
<p>5 学習のまとめをする。 (2分)</p>	○丁寧な文字で清書することと，封筒の宛名の書き方をまとめる。				
	<p>相手のことを考えて清書する。 封筒には，相手の住所と名前，自分の住所と名前を書く。</p>				
<p>6 学習の振り返りをする。 (5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価をする。 				
	<ul style="list-style-type: none"> カードに○を付け，自己評価する。 ☆感想を教師と話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> カードに○を付け，自己評価する。観点を示し，感想を簡単に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> カードに○を付け，自己評価する。 ☆感想を教師と話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> カードに○を付け，自己評価する。観点を示し，感想を簡単に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> カードに○を付け，自己評価する。 ☆感想を教師と話し合う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを発表する。 <p>○今日の学習を通して分かったことや，がんばったことを紹介し賞賛する。</p>				

【資料2】ワークシート（9月の実践）



手紙を書く時の用紙は、行の幅を変えて複数用意した（図は8行と10行の用紙）。実態に合わせて使用した。

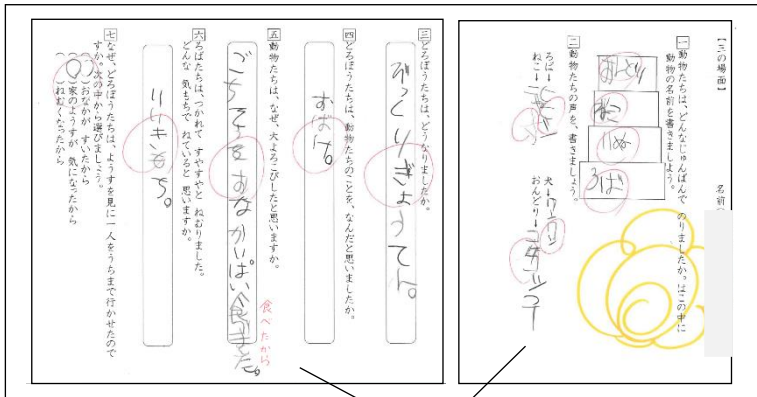


横書き用も用意し、実態に合わせて使用した。

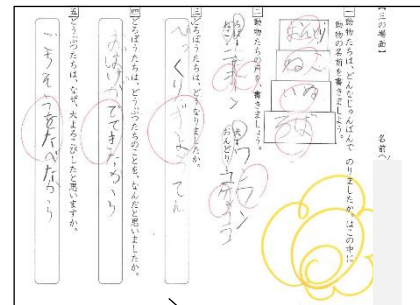
【資料3】ワークシートとノート（10月の実践）

I 読み取りに使用したワークシート

図は、第3時のワークシートで、児童の実態に合わせて作成した。教材文も児童の実態に合わせて作成したため、問題の量も異なる。



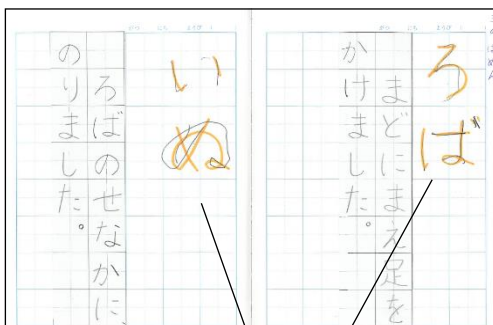
教科書の見開きで解答できる。教材文が見開きで2ページ分であったので、ワークシートは2枚である。



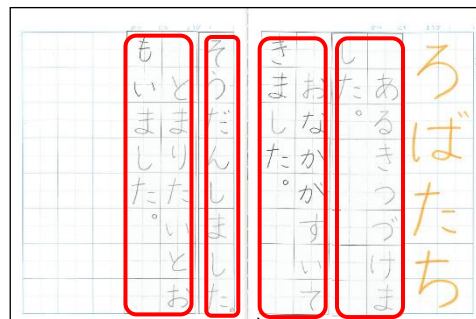
教材文が見開きで1ページ分であったので、ワークシートは1枚である。

II 読み取りに使用したノート

図は、第2時（右）と第3時（左）のノートである。あらかじめ書いてある登場人物の名前に、行動が書いてある短冊を選んで読み取りを行った。



学習に見通しがもてるようになった第3時から、なぞり書きを取り入れた。



登場人物の行動を選んで順に並べた。

【資料4】学習指導案（10月の実践）

特別支援学級国語科学習指導案

日 時	令和元年10月11日（金）～10月18日（金）
対 象	盛岡市立向中野小学校 知的障がい特別支援学級 1年生～5年生 計5名
指導者	藤井 未央

- 1 単元名 お話を読もう
教材名 「ブレーメンのまちはなし」

- 2 単元について

- (1) 児童観

学習活動においては、どの児童も意欲的に取り組もうとするが、集中できる時間が短く、課題解決に至るためには、個別に関わりながら具体的な指示や操作が必要である。

これまで、国語科における「読むこと」の学習は、個別に進めることが多く、実態に合わせて教科書を読んだり、プリントを活用して短い文章を読んで教師と一緒に読み取りを進めたりしてきた。一斉指導としては、季節に合った詩を音読しながら内容を読み取ったり、絵本の読み聞かせを通していろいろな本に触れたりしてきた。

読み取りについては、短い文章を音読して、教師とやり取りしながらあらすじの大体を捉える児童がいる一方で、読み聞かせが中心の児童もいる。また、読書に関しては、学級でも図書室へ行く時間を設けており、自分で好きな本を選んで進んで借りている。しかし、図鑑が中心であったり、同じ本を繰り返し借りたりするなど、広く読書に親しんでいるとは言い難い。このような実態を踏まえ、個に応じた学習を中心に据えながらも、一つの読み物をじっくり読んであらすじを捉えたり、叙述から登場人物の気持ちを想像したりするなどしながら、物語を読むことの面白さを味わわせていきたいと考える。また、互いの音読や発言を聞き合ったりすることを通して、学び合いの学習の場も増やしていきたい。

- (2) 教材観

本教材は、特別支援学校小学部知的障がい者用「こくご☆☆☆」（文部科学省著作教科書平成23年）にある物語文である。「ブレーメンの音楽隊」として親しまれているグリム童話を、「ブレーメンのおはなし」として、簡単な文章に楽しくなるような挿絵を添えて構成したものである。児童が、物語の絵を見たり、文章を読むことの楽しさや感動を味わったり、物語への関心を高めたりすることができるように、ろば、犬、猫、おんどりなどの動物たちに直接関係する話を中心にまとめている。

年をとり、働けなくなったろばが、町の音楽隊に入れてもらうことを夢見て、ブレーメンの町を目指して旅立つところから話が始まる。その後、犬、猫、おんどりと出会い、似た構成の話が繰り返されており、順を追って読むことができる。また、森の中で泥棒たちの家を見付けご馳走を食べている様子を見たり、自分たちもこの家で暮らしたいと思ったりする場面は、叙述から想像を膨らませることができるものとする。物語は、動物たちが力を合わせて暮らしていくことで終わり、年老いて思うように仕事ができなくなった動物たちが、仲良く幸せに暮らしていく様子を感じることができる。

学習活動の一例として、ごっこ遊びをしたり動作化したりすることができる教材でもある。本単元では、読み取ったことを基に、毎時間ペーパーサートを使って動作化する。一斉指導を行いながら、個に応じて各場面の感想を話す場を設定したり、興味をもった場面を繰り返し読んだり、それぞれの学習を生かして動作化につなげていくことができるものとする。

- (3) 指導観

指導にあたっては、「こくご☆☆☆」にある教材文を児童の実態に合わせて提示する。全て平仮名表記のもの、漢字を使っているものなど実態に合わせたものとする。自力で音読が進められそうな児童には、本文の内容を膨らませ、「こくご☆☆☆」に絵本「ブレーメンの音楽隊」（偕成社出版）の内容を一部加えたものを提示したい。挿絵は共通のものを使用して、一斉指導で想像を膨らませたり、感想を発表したりする際の手掛かりの一つにしたいと考える。

第1時～第4時では、本文を四つの場面に分け、場面ごとに読み聞かせや音読をしながら、あらす

じを捉える。話の順番に登場人物と行動を確認する児童、加えて心情も想像する児童と個に応じて展開する。集中が続かない児童への手立てとして、物語に関わる文字の練習をしたり、ペープサートを使った動作化に向けて簡単な制作活動を行ったりするなど、多様な活動を組み合わせながら進めていきたいと考える。動作化については、誰が何をしたかを演じる児童、登場人物の心情等も加えて演じる児童など、実態に応じたものとする。台詞や動作の内容や量に違いはあるが、同じ場面を読み取ったことのまとめに位置付け、みんなで聞き合い賞賛の場の一つにしたいと考える。

第5時では、これまでの学習を基に、自分が特に気に入った場面の紹介をする。気に入った理由も発表できるように、原稿の書き方や発表の型を示し、個に応じて活用できるようにしたい。

(4) 研究との関わり

知的障がい特別支援学級で行われている国語の学習は、教科として行ったり、日常生活の指導や生活単元学習などの合わせた指導と関連させて行ったりしている。どちらの場合であっても、一斉指導の中で個に応じた目標・内容の設定と、目標達成に向けた支援の在り方が重要である。今回の実践は、教科として行う国語である。教科別の指導であっても、児童が意欲的に学習を進め、国語科の目標を達成するとともに、生活を豊かにし、日常生活で活用できる力を育成することが大切であるとする。

単元に関わる児童の実態把握を、研究の手立て2で作成した指導内容一覧表を活用して行う。児童の実態把握を受け、目標と内容を設定する際は、指導内容一覧表と系統表を活用して行う。また、9月の実践を踏まえて、評価・改善を図りながら授業を進める。

3 「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力（読むこと）」に関する児童の実態

		指導内容	段階・学年	児童A	児童B	児童C	児童D	児童E
知識及び技能	言葉の特徴や使い方	ア(カ)正しい姿勢で音読すること。	3段階	★	◎	★	◎	○
		(1)ク語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。	1・2年		★		◎	★
		(1)ク文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読すること。	3・4年				★	
		(1)ク比喩や反復などの表現に気付くこと。	5・6年					
		(1)ク文章を音読したり朗読したりすること。	5・6年					
思考力、判断力、表現力等	読むこと	イ絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現すること。	1段階	◎	◎	◎	◎	◎
		イ教師と一緒に絵本などを見て、時間の経過などの大体を捉えること。	2段階	★	○	★	○	○
		イ絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えること。	3段階		○		○	○
		イ場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。	1・2年		★		○	★
		イ登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。	3・4年				★	
		イ登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。	5・6年					
		エ絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすること。	1段階	○	◎	○	◎	◎
		エ絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすること。	2段階	★	◎	★	◎	◎
		エ登場人物になったつもりで、音読したり演じたりすること。	3段階		○		○	○
		エ場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。	1・2年		★		○	★
		エ登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像すること。	3・4年				★	
		エ人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。	5・6年					

◎：十分達成 ○：概ね達成 ★本単元で目指す内容

4 単元の目標

知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
語のまとまりに気を付け, 内容の大体を意識しながら音読することができる。	「読むこと」において, 童話を読み, 時間の経過などの大体を捉え, 登場人物の行動や気持ちの変化を考えることができる。	童話に興味をもち, 音読や動作化を楽しもうとしている。

5 児童の目標と学習の状況

児童	単元の目標【段階・学年】			㊦学習に向かう様子(日常) ㊧困難の要因 ㊨予想される困難と支援の方向性
	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等	
児童A	【3段階】 正しい姿勢で音読することができる。	【2段階】 「読むこと」において, 教師と一緒にお話を見て, 時間の経過などの大体を捉えることができる。	童話に親しみ, 好きな場面の言葉などを模倣したり動作化したりしようとしている。	㊦集中に欠けることがあるが, 学習には意欲的である。 ㊧一度の課題の量が多い。 ㊨短時間でできる課題を複数準備する。
児童B	【1・2年生】 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。	【1・2年生】 「読むこと」において, 内容の大体を捉え, 登場人物の行動を具体的に想像することができる。	童話に親しみ, 音読や動作化を楽しもうとしている。	㊦自分の考えに自信がもてず活動が止まってしまうことがあるが, 学習には意欲的である。 ㊧口頭での指示内容の理解や自己決定して学習を進めることが苦手である。 ㊨視覚に訴える掲示や板書をする。観点から選んだり, 考えを書いてから発表したりできるようにする。
児童C	【3段階】 正しい姿勢で音読することができる。	【2段階】 「読むこと」において, 教師と一緒にお話を見て, 時間の経過などの大体を捉えることができる。	童話に親しみ, 言葉などを模倣したり動作化したりしようとしている。	㊦集中に欠けることがあるが学習には意欲的であり, 既習の内容であれば自力で進めることができる。 ㊧一度の課題の量が多い。進め方や順番にこだわりがある。 ㊨興味を引き出す活動を取り入れる。短時間でできる課題を複数準備する。
児童D	【3・4年生】 文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。	【3・4年生】 「読むこと」において, 登場人物の行動や気持ちの変化などについて, 叙述を基に捉えることができる。	童話に親しみ, 音読やみんなで動作化することを楽しもうとしている。	㊦話を聞くことが難しいことがあるが, 下級生に教えたり, 意欲的に発言したりすることができる。 ㊧学習に見通しをもつことができず, じっくり取り組むことが苦手である。 ㊨同じ学習パターンを繰り返すことで, 見通しをもって進めることができるようにする。
児童E	【1・2年生】 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。	【1・2年生】 「読むこと」において, 内容の大体を捉え, 登場人物の行動を具体的に想像することができる。	童話に親しみ, 音読やみんなで動作化することを楽しもうとしている。	㊦新しい学習には消極的であるが, 繰り返し学習には意欲的である。 ㊧課題の難易度に左右される。進め方にこだわりがある。 ㊨学習の流れや1単位時間ごとのゴールを明らかにし, 意欲を高める。

6 単元の指導計画

各時間の主な学習内容					
評価規準【評価の場面】					
時	児童A	児童B	児童C	児童D	児童E
1	一の場面（動物たちが出会い、ブレイメンに向かう場面）を読み取る。				
	<p>知・技 一の場面を、正しい姿勢で音読している。 【音読】</p> <p>思・判・表 なぜ、動物たちは、ブレイメンに行くことになったのか、教師と一緒にお話を聞いて、順に捉えている。 【発言】【ワークシート】</p>	<p>知・技 一の場面を、語のまとまりや言葉の響きに気を付けて音読している。 【音読】</p> <p>思・判・表 なぜ、動物たちは、ブレイメンに行くことになったのか、登場人物の行動から捉えている。 【発言】【ワークシート】</p>	<p>知・技 一の場面を、正しい姿勢で音読している。 【音読】</p> <p>思・判・表 なぜ、動物たちは、ブレイメンに行くことになったのか、教師と一緒にお話を聞いて、順に捉えている。 【発言】【ワークシート】</p>	<p>知・技 一の場面を、文章の構成や内容の大体を意識しながら音読している。 【音読】</p> <p>思・判・表 なぜ、動物たちは、ブレイメンに行くことになったのか、登場人物の行動や気持ちを、叙述を基に捉えている。 【発言】【ワークシート】</p>	<p>知・技 一の場面を、語のまとまりや言葉の響きに気を付けて音読している。 【音読】</p> <p>思・判・表 なぜ、動物たちは、ブレイメンに行くことになったのか、登場人物の行動から捉えている。 【発言】【ワークシート】</p>
2	二の場面（動物たちが森の中で泥棒たちの家を見付ける場面）を読み取る。				
	<p>知・技 二の場面を、正しい姿勢で音読している。 【音読】</p> <p>思・判・表 なぜ、動物たちは、家の中をのぞいたのか、教師と一緒にお話を聞いて、時間の経過を基に捉えている。 【発言】【ワークシート】</p>	<p>知・技 二の場面を、語のまとまりや言葉の響きに気を付けて音読している。 【音読】</p> <p>思・判・表 なぜ、動物たちは、家の中をのぞいたのか、場面の様子を基に捉えている。 【発言】【ワークシート】</p>	<p>知・技 二の場面を、正しい姿勢で音読している。 【音読】</p> <p>思・判・表 なぜ、動物たちは、家の中をのぞいたのか、教師と一緒にお話を聞いて、時間の経過を基に捉えている。 【発言】【ワークシート】</p>	<p>知・技 二の場面を、文章の構成や内容の大体を意識しながら音読している。 【音読】</p> <p>思・判・表 なぜ、動物たちは、家の中をのぞいたのか、時間の経過と登場人物の気持ちを基に捉えている。 【発言】【ワークシート】</p>	<p>知・技 二の場面を、語のまとまりや言葉の響きに気を付けて音読している。 【音読】</p> <p>思・判・表 なぜ、動物たちは、家の中をのぞいたのか、場面の様子を基に捉えている。 【発言】【ワークシート】</p>

3	三の場面（泥棒たちが逃げて、動物たちがごちそうを食べる場面）を読み取る。				
<p>知・技 三の場面を、正しい姿勢で音読している。 【音読】</p> <p>思・判・表 なぜ、動物たちは、大喜びしたのか、教師と一緒にお話を聞いて、動物たちの行動を基に捉えている。 【発言】【ワークシート】</p>	<p>知・技 三の場面を、語のまとまりや言葉の響きに気を付けて音読している。 【音読】</p> <p>思・判・表 なぜ、動物たちは、大喜びしたのか、動物たちの行動を基に捉えている。 【発言】【ワークシート】</p>	<p>知・技 三の場面を、正しい姿勢で音読している。 【音読】</p> <p>思・判・表 なぜ、動物たちは、大喜びしたのか、教師と一緒にお話を聞いて、動物たちの行動を基に捉えている。 【発言】【ワークシート】</p>	<p>知・技 三の場面を、文章の構成や内容の大体を意識しながら音読している。 【音読】</p> <p>思・判・表 なぜ、動物たちは、大喜びしたのか、叙述を基に捉えている。 【発言】【ワークシート】</p>	<p>知・技 三の場面を、語のまとまりや言葉の響きに気を付けて音読している。 【音読】</p> <p>思・判・表 なぜ、動物たちは、大喜びしたのか、動物たちの行動を基に捉えている。 【発言】【ワークシート】</p>	
4	四の場面（動物たちが森の中の家で、仲よく暮らしていく場面）を読み取る。				
<p>知・技 四の場面を、正しい姿勢で音読している。 【音読】</p> <p>思・判・表 なぜ、動物たちは、仲よく暮らすことができたのか、教師と一緒にお話を聞いて、動物たちの行動を基に捉えている。 【発言】【ワークシート】</p>	<p>知・技 四の場面を、語のまとまりや言葉の響きに気を付けて音読している。 【音読】</p> <p>思・判・表 なぜ、動物たちは、仲よく暮らすことができたのか、場面の様子や登場人物の行動を基に捉えている。【発言】【ワークシート】</p>	<p>知・技 四の場面を、正しい姿勢で音読している。 【音読】</p> <p>思・判・表 なぜ、動物たちは、仲よく暮らすことができたのか、教師と一緒にお話を聞いて、動物たちの行動を基に捉えている。 【発言】【ワークシート】</p>	<p>知・技 四の場面を、文章の構成や内容の大体を意識しながら音読している。 【音読】</p> <p>思・判・表 なぜ、動物たちは、仲よく暮らすことができたのか、登場人物の行動や気持ちを基に捉えている。 【発言】【ワークシート】</p>	<p>知・技 四の場面を、語のまとまりや言葉の響きに気を付けて音読している。 【音読】</p> <p>思・判・表 なぜ、動物たちは、仲よく暮らすことができたのか、場面の様子や登場人物の行動を基に捉えている。 【発言】【ワークシート】</p>	
5	お気に入りの場面を紹介する。				
<p>主体的に学習に取り組む態度 童話に親しみ、好きな場面の言葉などを模倣したり動作化したりして、楽しもうとしている。 【音読】【紹介カード】【ペープサート】</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度 童話に親しみ、音読や動作化を楽しもうとしている。 【音読】【紹介カード】【ペープサート】</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度 童話に親しみ、言葉などを模倣したり動作化したりして、楽しもうとしている。 【音読】【紹介カード】【ペープサート】</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度 童話に親しみ、音読や動作化を楽しもうとしている。 【音読】【紹介カード】【ペープサート】</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度 童話に親しみ、音読や動作化を楽しもうとしている。 【音読】【紹介カード】【ペープサート】</p>	

7 展開 (全5時間)

(1) 1/5時 [知・技] 語のまとまりに気を付け、正しい姿勢で音読することができる。[思・判・表] 内容の大体を捉えることができる。

学習活動 (時間)	・学習内容 ○指導上の留意点 ☆教師の支援 評価				
	児童A	児童B	児童C	児童	児童E
1 場面の範読を聞き、単元の見通しをもつ。(3分)	<p>○動物クイズをして、お話に興味をもつことができるようにする。</p> <p>○一の場面を範読し、動物クイズと関わらせて登場人物を確認する。</p> <p>○単元計画表を見ながら確認できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">なぜ、どうぶつたちは、ブレーメンに行くことになったのかな。</div> <p>○「場面の音読→ワークシート→みんなで確認→ペープサート」の順に学習することを知らせる。</p> <p>○児童A, C, Eのグループ, 児童B, Dのグループに分けて学習を進めることを知らせる。</p>				
2 課題を確認する。(1分)					
3 学習の流れを確認する。(1分)					
4 音読をする。(5分)	<p>☆教師と一緒に音読をする。全文が読めなくてもよいこととする。</p> <p>○動物の名前の平仮名を練習する。</p> <p>○ペープサートの色塗りをする。</p> <p>評正しい姿勢で音読している。</p> <p>評順を追って内容の大体を捉えている。</p>	<p>○自力で音読をする。</p> <p>☆教師の前で読み、正しく読んでいるか確認する。</p> <p>○ワークシートの問題に答える形式で読み取りを進める。</p> <p>☆ワークシートの答え合わせをする。登場人物の行動から気持ちを問い、深められるようにする。</p> <p>評語のまとまりに気を付けて音読している。</p> <p>評場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。</p>	<p>☆教師と一緒に音読をする。全文が読めなくてもよいこととする。</p> <p>☆教師と一緒に読みながら、登場人物と行動を確認する。ワークシートに記入するよう促す。</p> <p>○一の場面の片仮名を練習する。</p> <p>○ペープサートの色塗りをする。</p> <p>評正しい姿勢で音読している。</p> <p>評順を追って内容の大体を捉えている。</p>	<p>○自力で音読をする。</p> <p>☆教師の前で読み、正しく読んでいるか確認する。</p> <p>○ワークシートの問題に答える形式で読み取りを進める。</p> <p>☆ワークシートの答え合わせをする。登場人物の行動から気持ちを問い、深められるようにする。</p> <p>評内容の大体を意識して音読している。</p> <p>評登場人物の行動や気持ちについて捉えている。</p>	<p>○自力で音読をする。</p> <p>☆教師の前で読み、正しく読んでいるか確認する。</p> <p>☆教師と一緒に読みながら、登場人物と行動を確認する。ワークシートの問題に答え、考えられるようにする。</p> <p>評語のまとまりに気を付けて音読している。</p> <p>評場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。</p>
5 ワークシートに沿って読み取りをする。(10分)					

6 交流をする。 (10分)	<p>○登場人物と行動について確認する。</p> <p>○各自が読み取ったことを発表できるようにする。</p> <p>(例) みんなで、たのしくくらすために、ブレーメンに行くことになりました。</p>				
7 ペープサートを使って一の場面を表現する。(10分)	<p>○役を決める。</p> <p>○初めてのペープサートを使うので、使い方の例を示しながら進める。</p>				
	<p>☆教師と一緒に、あらすじの通りにペープサートを動かすことができるようにする。台詞を確認する。</p>	<p>○あらすじの通りにペープサートを動かす。</p> <p>☆ワークシートを見ながら、読み取りの際に考えた登場人物の気持ちも言葉で表現するように促す。台詞を確認する。</p>	<p>☆教師と一緒に、あらすじの通りにペープサートを動かすことができるようにする。台詞を確認する。</p>	<p>○あらすじの通りにペープサートを動かす。</p> <p>☆ワークシートを見ながら、読み取りの際に考えた登場人物の気持ちも言葉で表現するように促す。台詞を確認する。</p>	<p>○あらすじの通りにペープサートを動かす。</p> <p>台詞を確認する。</p>
8 学習の振り返りをする。 (5分)	<p>○みんなで演じてみて、よかったことを賞賛し、次回への意欲付けを図る。</p>				
	<p>カードに○を付け、自己評価する。</p> <p>☆感想を教師と話し合う。</p>	<p>カードに○を付け、自己評価し、感想も書く。</p>	<p>カードに○を付け、自己評価する。</p> <p>☆感想を教師と話し合う。</p>	<p>カードに○を付け、自己評価し、観点に沿った感想を書く。</p>	<p>カードに○を付け、自己評価する。</p> <p>☆観点について教師と話し合い、感想を簡単に書く。</p>
	<p>・振り返りを発表する。</p> <p>○今日の学習を通して分かったことや、がんばったことを紹介し賞賛する。</p>				

(2) 2 / 5 時 [知・技] 語のまとまりに気を付け、正しい姿勢で音読することができる。[思・判・表] 内容の大体を捉えることができる。

学習活動 (時間)	・学習内容 ○指導上の留意点 ☆教師の支援 評価				
	児童A	児童B	児童C	児童D	児童E
1 前時までの学習を振り返り、本時の学習内容を知る。(3分)	<p>○単元計画表を見ながら確認できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">なぜ、どうぶつたちは、いえの中をのぞいたのかな。</div> <p>○「場面の音読→ワークシート→みんなで確認→ペープサート」の順に学習することを知らせる。 ○児童A, C, Eのグループ, 児童B, Dのグループに分けて学習を進めることを知らせる。</p>				
2 課題を確認する。(1分)					
3 学習の流れを確認する。(1分)					
4 音読をする。(5分)	☆教師と一緒に音読をする。姿勢に気を付けるよう声をかける。前時より量を増やすよう促す。	・自力で音読をする。 ☆教師の前で読み、正しく読んでいるか確認する。	☆教師と一緒に音読をする。姿勢に気を付けるよう声をかける。前時より量を増やすよう促す。	・自力で音読をする。 ☆教師の前で読み、最後まで正しく読んでいるか確認する。	・自力で音読をする。 ☆教師の前で読み、正しく読んでいるか確認する。
5 ワークシートに沿って読み取りをする。(10分)	☆教師と一緒に読みながら、登場人物と行動を確認する。登場人物の行動を選び、順に貼る。 ・平仮名「ろば」を練習する。 ・ペープサートの色塗りをする。 [評]正しい姿勢で音読している。	・ワークシートの問題に答える形式で読み取りを進める。 ☆ワークシートの答え合わせをする。登場人物の行動から心情を問い、深められるようにする。 [評]語のまとまりに気を付けて音読している。 [評]場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	☆教師と一緒に読みながら、登場人物と行動を確認する。ワークシートに記入するよう促す。 ・二の場面の片仮名を練習する。 ・ペープサートの色塗りをする。 [評]正しい姿勢で音読している。	☆ワークシートの問題に答える形式で読み取りを進める。 ☆ワークシートの答え合わせをする。登場人物の行動から気持ちを問い、深められるようにする。 [評]内容の大体を意識して音読している。 [評]登場人物の行動や気持ちについて捉えている。	☆教師と一緒に読みながら、登場人物と行動を確認する。ワークシートの問題に答え、心情も考えられるようにする。 [評]語のまとまりに気を付けて音読している。 [評]場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。

6 交流をする。 (10分)	評順を追って内容の大体を捉えている。		評順を追って内容の大体を捉えている。		
	<p>○登場人物と行動について確認する。 ○各自が読み取ったことを発表できるようにする。 (例) ごちそうをたべて、いえの中にとまりたいとおもったから、のぞきました。</p>				
7 ペープサートを使って一の場面を表現する。 (10分)	○役を決める。 ○会話文を付け加えて発表できるようにする。				
	☆教師と一緒に、あらすじの通りにペープサートを動かすことができるようにする。	・あらすじの通りにペープサートを動かす。 ☆読み取りの際に考えた登場人物の気持ちも言葉で表現するように促す。	☆教師と一緒に、あらすじの通りにペープサートを動かすことができるようにする。	・あらすじの通りにペープサートを動かす。 ☆読み取りの際に考えた登場人物の気持ちも言葉で表現するように促す。	・あらすじの通りにペープサートを動かす。 ☆読み取りの際に考えた登場人物の気持ちも言葉で表現するように促す。
8 学習の振り返りをする。 (10分)	○みんなで演じてみて、よかったことを賞賛し、次回への意欲付けを図る。				
	カードに○を付け、自己評価する。 ☆感想を教師と話し合う。	カードに○を付け、自己評価し、感想も書く。	カードに○を付け、自己評価する。 ☆感想を教師と話し合う。	カードに○を付け、自己評価し、観点に沿った感想を書く。	カードに○を付け、自己評価する。 ☆観点について教師と話し合い、感想を簡単に書く。
	<p>・振り返りを発表する。 ○今日の学習を通して分かったことや、がんばったことを紹介し賞賛する。</p>				

(3) 3 / 5 時 [知・技] 語のまとまりに気を付け、正しい姿勢で音読することができる。[思・判・表] 内容の大体を捉えることができる。

学習活動 (時間)	・学習内容		○指導上の留意点	☆教師の支援	評価
	児童A	児童B	児童C	児童D	児童E
1 前時までの学習を振り返り、本時の学習内容を知る。(3分)	○単元計画表を見ながら確認できるようにする。				
2 課題を確認する。(1分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> なぜ、どうぶつたちは 大よろこびしたのかな。 </div>				
3 学習の流れを確認する。(1分)	○「場面の音読→ワークシート→みんなで確認→ペープサート」の順に学習することを知らせる。 ○児童A, C, Eのグループ, 児童B, Dのグループに分けて学習を進めることを知らせる。				
4 音読をする。(5分)	☆教師と一緒に音読をする。姿勢を意識するよう声をかける。前時より量を増やすよう促す。	・自力で音読をする。 ☆教師の前で読み、漢字を中心に正しく読んでいるか確認する。	☆教師と一緒に音読をする。姿勢を意識するよう声をかける。前時より量を増やすよう促す。	・自力で音読をする。 ☆教師の前で読み、最後まで正しく読んでいくか確認する。	・自力で音読をする。 ☆指で追いながら読むように声をかけ、正しく読んでいるか確認する。
5 ワークシートに沿って読み取りをする。(10分)	☆教師と一緒に読みながら、登場人物と行動を確認する。登場人物の行動を選び、順に貼る。 ・平仮名で「ろば」を練習する。 ・「ろ」は自力で書く。 [評]正しい姿勢で音読している。 [評]順を追って内容の大体を捉えている。	・ワークシートの問題に答える形式で読み取りを進める。 ☆ワークシートの答え合わせをする。登場人物の行動から心情を問い、深められるようにする。 [評]語のまとまりに気を付けて音読している。 [評]場面の様子や登場人	☆教師と一緒に読みながら、登場人物と行動を確認する。登場人物の行動を選び、順に貼る。 ・動物の名前の平仮名と二の場面の片仮名を練習する。 [評]正しい姿勢で音読している。 [評]順を追って内容の大体を捉えている。	☆ワークシートの問題に答える形式で読み取りを進める。 ☆ワークシートの答え合わせをする。登場人物の行動から気持ちを問い、深められるようにする。 [評]内容の大体を意識して音読している。 [評]登場人物の行動や気持ちについて捉えている。	☆最初は、自力で取り組むように声をかける。教師と一緒に読みながら、登場人物と行動を確認する。ワークシートの問題に答え、心情も考えられるようにする。 [評]語のまとまりに気を付けて音読している。

		物の行動など、内容の大体を捉えている。			評場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。
6 交流をする。 (10分)	<p>○登場人物の行動と行動から考えられる気持ちについて確認する。</p> <p>○各自が読み取ったことを発表できるようにする。</p> <p>(例) どろぼうをおいだして、ごちそうを おなかいっぱい食べたからです。</p>				
7 ペープサートを使って一の場面を表現する。(10分)	<p>○役を決める。</p> <p>○動物の鳴き声や、「いっせいに」「とびこみました」など、読み取ったことを表現するよう促す。</p>				
	☆教師と一緒に、あらすじの通りにペープサートを動かすことができるようにする。	・あらすじの通りにペープサートを動かす。 ☆読み取りの際に考えた登場人物の気持ちも言葉で表現するよう促す。	☆教師と一緒に、あらすじの通りにペープサートを動かすことができるようにする。	・あらすじの通りにペープサートを動かす。 ☆読み取りの際に考えた登場人物の気持ちも言葉で表現するよう促す。	・あらすじの通りにペープサートを動かす。 ☆読み取りの際に考えた登場人物の気持ちも言葉で表現するよう促す。
	○みんなで演じてみて、よかったことを賞賛し、次回への意欲付けを図る。				
8 学習の振り返りをする。 (10分)	カードに○を付け、自己評価する。 ☆感想を教師と話し合う。	カードに○を付け、自己評価する。観点を示し、感想を簡単に書く。	カードに○を付け、自己評価する。 ☆感想を教師と話し合う。	カードに○を付け、自己評価する。観点を示し、感想を簡単に書く。	カードに○を付け、自己評価する。 ☆感想を教師と話し合う。
	<p>・振り返りを発表する。</p> <p>○今日の学習を通して分かったことや、がんばったことを紹介し賞賛する。</p>				

(4) 4 / 5 時 [知・技] 語のまとまりに気を付け、正しい姿勢で音読することができる。[思・判・表] 内容の大体を捉えることができる。

学習活動 (時間)	・学習内容 ○指導上の留意点 ☆教師の支援 評価				
	児童A	児童B	児童C	児童D	児童E
1 前時までの学習を振り返り、本時の学習内容を知る。(1分)	<p>○単元計画表を見ながら確認できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> なぜ、どうぶつたちは、なかよくくらすことができたのかな。 </div> <p>○「場面の音読→ワークシート→みんなで確認→ペープサート」の順に学習することを知らせる。 ○児童A, C, Eのグループ, 児童B, Dのグループに分けて学習を進めることを知らせる。</p>				
2 課題を確認する。(1分)					
3 学習の流れを確認する。(1分)					
4 音読をする。(5分)	☆教師と一緒に音読をする。姿勢を意識するよう声をかける。前時より量を増やすよう促す。 ☆教師と一緒に読みながら、登場人物と行動を確認する。登場人物の行動を選び、順に貼る。 ・平仮名で「ろば」「いぬ」を練習する。 ・「ろ」「い」は自力で書く。 評正しい姿勢で音読している。	・自力で音読をする。 ☆教師の前で読み、漢字を中心に正しく読んでいるか確認する。 ・ワークシートの問題に答える形式で読み取りを進める。 ☆ワークシートの答え合わせをする。登場人物の行動から心情を問い、深められるようにする。 評語のまとまりに気を付けて音読している。 評場面の様子や登場人物の行動など、内容の	☆教師と一緒に音読をする。姿勢を意識するよう声をかける。前時より量を増やすよう促す。 ☆教師と一緒に読みながら、登場人物と行動を確認する。登場人物の行動を選び、順に貼る。 ・お話に出てくる片仮名を練習する。 評正しい姿勢で音読している。 評順を追って内容の大体を捉えている。	・自力で音読をする。 ☆教師の前で読み、最後まで正しく読んでいるか確認する。 ・ワークシートの問題に答える形式で読み取りを進める。 ☆ワークシートの答え合わせをする。登場人物の行動から気持ちを問い、深められるようにする。 評内容の大体を意識して音読している。	・自力で音読をする。 ☆指で追いながら読むように声をかけ、正しく読んでいるか確認する。 ☆最初は、自力で取り組むように声をかける。教師と一緒に読みながら、登場人物と行動を確認する。ワークシートの問題に答え、心情も考えられるようにする。 評語のまとまりに気を付けて音読している。
5 ワークシートに沿って読み取りをする。(10分)					

	評 順を追って内容の大体を捉えている。	大体を捉えている。		評 登場人物の行動や気持ちについて捉えている。	評 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。
6 交流をする。 (10分)	○登場人物の行動と行動から考えられる気持ちについて確認する。 ○各自が読み取ったことを発表できるようにする。 (例) きにいったいで、おんがくたいが できたからです。				
7 ペープサートを使って一の場面を表現する。(10分)	○役を決める。 ○どろぼうを追い出すための動物の行動や、「いちもくさんに」など、読み取ったことを表現するよう促す。				
	☆教師と一緒に、あらすじの通りにペープサートを動かすことができるようにする。	・あらすじの通りにペープサートを動かす。 ☆読み取りの際に考えた登場人物の気持ちも言葉で表現するよう促す。	☆教師と一緒に、あらすじの通りにペープサートを動かすことができるようにする。	・あらすじの通りにペープサートを動かす。 ☆読み取りの際に考えた登場人物の気持ちも言葉で表現するよう促す。	・あらすじの通りにペープサートを動かす。 ☆読み取りの際に考えた登場人物の気持ちも言葉で表現するよう促す。
8 学習の振り返りをする。 (10分)	○みんなで演じてみて、よかったことを賞賛し、次回への意欲付けを図る。				
	カードに○を付け、自己評価する。 ☆感想を教師と話し合う。	カードに○を付け、自己評価する。観点を示し、感想を簡単に書く。	カードに○を付け、自己評価する。 ☆感想を教師と話し合う。	カードに○を付け、自己評価する。観点を示し、感想を簡単に書く。	カードに○を付け、自己評価する。 ☆感想を教師と話し合う。
	・振り返りを発表する。 ○今日の学習を通して分かったことや、がんばったことを紹介し賞賛する。				

(5) 5 / 5 時 [主体的に学習に取り組む態度]お気に入りの場面について、音読や動作化を楽しみながら紹介することができる。

学習活動 (時間)	・学習内容 ○指導上の留意点 ☆教師の支援 評価				
	児童A	児童B	児童C	児童D	児童E
1 前時までの学習を振り返り、本時の学習内容を知る。(3分)	○単元計画表を見ながら確認できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">お気に入りの場면을紹介しよう。</div>				
2 学習の流れを確認する。(2分)	○「紹介する場面を決める→音読発表→みんなでペープサート→振り返り」の順に学習することを知らせる。				
3 紹介する場面を決める。(5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・場面ごとに掲示した全文の中から好きな場面を選ぶ。 ○前時までに読み取ったことや、挿絵を参考に選ぶように促す。選んだ理由も考えるよう声をかける。 				
4 好きな場면을音読発表する。(10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○選んだ理由を発表してから音読発表を確認する。 ☆教師と一緒に選んだ理由を考え、発表する。 ☆音読は、場面の全文でなくてもよいこととする。 評好きな場면을音読し、お話を楽しみながら紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> 評好きな場면을音読し、お話を楽しみながら紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆教師と一緒に選んだ理由を考え、発表する。 ☆音読は、場面の全文でなくてもよいこととする。 評好きな場면을音読し、お話を楽しみながら紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> 評好きな場면을音読し、お話を楽しみながら紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆教師と一緒に選んだ理由を考え、発表する。 評好きな場면을音読し、お話を楽しみながら紹介している。
5 ペープサートを使って、全	<ul style="list-style-type: none"> ・読み取ったことを基に、全文をペープサート劇で表現する。 ○動物の会話文や、前時までに取り上げた言葉の意味を表現するように確認する。 				

文を表現する。(15分)	評好きな場面の言葉などを模倣したり動作化したりして、楽しもうとしている。	評動作化を楽しもうとしている。	評好きな場面の言葉などを模倣したり動作化したりして、楽しもうとしている。	評動作化を楽しもうとしている。	評動作化を楽しもうとしている。
○よかったことを紹介し、ペープサート劇を称賛する。					
6 学習の振り返りをする。(10分)	カードに○を付け、自己評価する。 ☆感想を教師と話し合う。	カードに○を付け、自己評価し、感想も書く。	カードに○を付け、自己評価する。 ☆感想を教師と話し合う。	カードに○を付け、自己評価し、観点に沿った感想を書く。	カードに○を付け、自己評価する。 ☆観点について教師と話し合い、感想を簡単に書く。
・振り返りを発表する。 ○がんばったことを紹介し賞賛する。					

【資料5】国語に関する実態把握

指導内容一覧表（国語に関する実態把握）

知的障がい特別支援学校・小学校（国語）

段階は知的障がい特別支援学校、学年は小学校

		指導内容	段階・学年	児童A	児童B	児童C	児童D	児童E
知識及び技能	言葉の特徴や使い方	ア（ア）身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が物事の内容を表していることを感じることに気付くこと。	1段階	◎	◎	◎	◎	◎
		ア（ア）身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じることに気付くこと。	2段階	◎	◎	◎	◎	◎
		ア（ア）身近な人との会話や読み聞かせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気付くこと。	3段階	◎	◎	◎	◎	◎
		（1）ア言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。	1・2年		○		◎	
		（1）ア言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。	3・4年				◎	
		（1）ア言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。	5・6年					
		ア（イ）姿勢や口形に気を付けて話すこと。	3段階		○		○	○
		（1）イ音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。	1・2年		○		○	
		（1）イ相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。	3・4年				○	
		（1）イ話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。	5・6年					
		ア（イ）日常生活でよく使われている平仮名を読むこと。	2段階	○	◎	○	◎	◎
		ア（ウ）日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい使い方を覚えること。	3段階	○	○	○	○	○
		（1）ウ長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。	1・2年		○		○	
		（1）ウ漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。	3・4年					
（1）ウ文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。	5・6年							

知識及び技能	言葉の特徴や使い方	(1) エ第1学年においては、別表の学年別漢字配当表(以下「学年別漢字配当表」という。)の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。	1・2年			○		○		
		(1) エ第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。	3・4年							
		(1) エ第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。	5・6年							
		ア(イ)言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすること。	1段階	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		ア(ウ)身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れること。	2段階	○	◎	○	◎	◎	◎	◎
		ア(エ)言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くこと。	3段階		○		◎	◎	○	○
		(1) オ身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。	1・2年						○	
		(1) オ様子や行動、気持ちや生活を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。	3・4年							
		(1) オ思考に関わる語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対するかんかくを意識して、語や語句を使うこと。	5・6年							
		ア(オ)文の中における主語と述語の関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ること。	3段階						○	
		(1) カ文の中における主語と述語との関係に気付くこと。	1・2年						○	
		(1) カ主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。	3・4年							
		(1) カ文の中での語句の係り方や語順、文と文の接続の関係、語や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。	5・6年							
		(1) キ丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れること。	1・2年						○	
		(1) キ丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。	3・4年							
		(1) キ日常よく使われる敬語を理解し使い慣れること。	5・6年							

知識及び技能	言葉の特徴や使い方	ア(カ)正しい姿勢で音読すること。	3段階		◎		◎	○
		(1)ク語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。	1・2年				◎	
		(1)ク文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読すること。	3・4年					
		(1)ク比喩や反復などの表現に気付くこと。	5・6年					
		(1)ケ文章を音読したり朗読したりすること。	5・6年					
	情報	イ(ア)物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解すること。	3段階	○	◎	○	◎	◎
		(2)ア共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。	1・2年				○	○
		(2)ア考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。	3・4年					
		(2)ア比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し、使うこと。	3・4年					
		イ(イ)図書を用いた調べ方を理解して使うこと。	3段階					○ ○
知識及び技能	言語文化	イ(ア)昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむこと。	1段階	◎	◎	◎	◎	◎
		に(ア)昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、言葉などを模倣したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。	2段階	◎	◎	◎	◎	◎
		ウ(ア)昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しむこと。	3段階	◎	◎	◎	◎	◎
		(3)ア昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむこと。	1・2年	○	◎	○	◎	◎
		(3)ア易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。	3・4年					○
		(3)ア親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。	5・6年					
		イ(イ)遊びを通して、言葉のもつ楽しさに触れること。	1段階	◎	◎	◎	◎	◎
		イ(イ)遊びややり取りを通して、言葉による表現を楽しむこと。	2段階		○			○ ○
		ウ(イ)出来事や経験したことを伝え合う活動を通して、いろいろな語句や文の表現に触れること。	3段階		○			○
		(3)イ長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くこと。	1・2年		○			○
(3)イ長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。	3・4年							

知識 及び 技能	言語 文化	(3) イ古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ること。	5・6年					
		(3) ウ漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解すること。	3・4年				○	
		(3) ウ語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。	5・6年					
		イ(ウ)㉞いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ること。	1段階	◎	◎	◎	◎	◎
		イ(ウ)㉞いろいろな筆記具を用いて、書くことに親しむこと。	2段階	◎	◎	◎	◎	◎
		ウ(ウ)㉞目的に合った筆記具を選び、書くこと。	3段階		○		○	
		(3) ウ(ア)【書写】姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書くこと。	1・2年		○		○	
		(3) ウ(ア)【書写】文字の組立て方を理解し、形を整えて書くこと。	3・4年					
		(3) ウ(ア)【書写】用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めるとともに、書く速さを意識して書くこと。	5・6年					
		イ(ウ)㉞筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ること。	1段階	◎	◎	◎	◎	◎
		イ(ウ)㉞写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付けること。	2段階	○	○	○	○	○
		ウ(ウ)㉞姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くこと。	3段階		○		○	○
		(3) ウ(イ)【書写】点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くこと。	1・2年				○	
		(3) ウ(イ)【書写】漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。	3・4年					
		(3) ウ(ウ)【書写】点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などに注意して、文字を正しく書くこと。	1・2年				○	
		(3) ウ(ウ)【書写】毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くこと。	3・4年					
		(3) ウ(イ)【書写】毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと。	5・6年					
		(3) ウ(ウ)【書写】目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くこと。	5・6年					
		イ(エ)読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつこと。	1段階	◎	◎	◎	◎	◎
		イ(エ)読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつこと。	2段階	◎	◎	◎	◎	◎
ウ(エ)読み聞かせなどに親しみ、いろいろな絵本や図鑑があることを知ること。	3段階	◎	◎	◎	◎	◎		
(3) エ読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。	1・2年	○	○	○	◎	○		

知識及び技能	言語文化	(3) 才幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。	3・4年				○	
		(3) 才日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くこと。	5・6年					
思考力、判断力、表現力等	聞くこと・話すこと（支援学校） ・話すこと・聞くこと（小学校）	ア教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表現や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすること。	1段階	◎	◎	◎	◎	◎
		ア身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすること。	2段階	◎	◎	◎	◎	◎
		ア絵本の読み聞かせなどを通して、出来事など話の大体を聞き取ること。	3段階	◎	◎	◎	◎	◎
		イ身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。	1段階	◎	◎	◎	◎	◎
		イ簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすること。	2段階	◎	◎	◎	◎	◎
		ウ伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。	1段階	◎	◎	◎	◎	◎
		ウ体験したことなどについて、伝えたいことを考えること。	2段階	○	◎	○	◎	◎
		イ経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考えること。	3段階	○	○	○	◎	◎
		ウ見聞きしたことのあらましや自分の気持ちなどについて思い付いたり、考えたりすること。	3段階		○		◎	◎
		エ挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現したりすること。	2段階	◎	◎	◎	◎	◎
		エ挨拶や電話の受け答えなど、決まった言い方を使うこと。	3段階	○	○	○	◎	◎
		ア身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。	1・2年		○		○	○
		ア目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。	3・4年				○	○
		ア目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。	5・6年					
		イ相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。	1・2年				○	○
		イ相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。	3・4年					
		イ話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。	5・6年					
オ相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けること。	3段階		○		◎	○		
ウ伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。	1・2年				○			

思考力、判断力、表現力等	聞くこと・話すこと・書くこと（支援学校） （小学校）	ウ話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。	3・4年					
		ウ資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。	5・6年					
		カ相手の話に関心をもち、自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりすること。	3段階		○		◎	◎
		エ話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。	1・2年					
		エ必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉え、自分の考えをもつこと。	3・4年					
		エ話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。	5・6年					
		オ互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。	1・2年		○		○	○
		オ目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。	3・4年					
		オ互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。	5・6年					
		思考力、判断力、表現力等	書くこと	ア身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすること。	1段階	◎	◎	◎
ア経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすること。	2段階				○		◎	○
ア身近で見聞きしたり、経験したりしたことについて書きたいことを見付け、その題材に必要な事柄を集めること。	3段階						◎	
ア経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。	1・2年							
ア相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。	3・4年							
ア目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。	5・6年							
イ文字に興味をもち、書こうとすること。	1段階			◎	◎	◎	◎	◎
イ自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすること。	2段階			◎	◎	◎	◎	◎
イ見聞きしたり、経験したりしたことから、伝えたい事柄の順序を考えること。	3段階						◎	
イ自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。	1・2年						○	
イ書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。	3・4年							

思考力、判断力、表現力等	書くこと	イ筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。	5・6年					
		ウ見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くこと。	3段階	○	○	○	◎	○
		ウ語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。	1・2年					
		ウ自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。	3・4年					
		ウ目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見を区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。	5・6年					
		エ引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。	5・6年					
		エ書いた語句や文を読み、間違いを正すこと。	3段階	○	○	○	○	○
		エ文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。	1・2年				○	
		エ間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えること。	3・4年					
		オ文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。	5・6年					
		オ文などに対して感じたことを伝えること。	3段階		○		○	
		オ文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。	1・2年				○	
		オ書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。	3・4年					
オ力文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。	5・6年							
思考力、判断力、表現力等	読むこと	ア教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目すること。	1段階	◎	◎	◎	◎	◎
		ア教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべること。	2段階	○	○	○	○	○
		ア絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像すること。	3段階	○	○	○	○	○
		ア時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。	1・2年				○	○
		ア段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。	3・4年					
		ア事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。	5・6年					
		イ絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現すること。	1段階	◎	◎	◎	◎	◎
		イ教師と一緒に絵本などを見て、時間の経過などの大体を捉えること。	2段階		○		○	○
		イ絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えること。	3段階		○		○	○

思考力、 判断力、 表現力等	読むこと	イ場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。	1・2年				○	
		イ登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。	3・4年					
		イ登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。	5・6年					
		ウ絵や矢印などの記号で表された意味に応じ、行動すること。	1段階	◎	◎	◎	◎	◎
		ウ日常生活でよく使われている表示などの特徴に気付き、読もうとしたり、表された意味に応じた行動をしたりすること。	2段階	○	◎	○	◎	◎
		ウ日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりすること。	3段階		○		○	○
		ウ文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。	1・2年					
		ウ目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること。	3・4年					
		ウ目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。	5・6年					
		エ絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすること。	1段階	○	◎	○	◎	◎
		エ絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすること。	2段階		◎		◎	◎
		エ登場人物になったつもりで、音読したり演じたりすること。	3段階		○		○	○
		エ場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。	1・2年				○	
		エ登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像すること。	3・4年					
		エ人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。	5・6年					
		オ文章の内容と自分の体験とを結びつけて、感想をもつこと。	1・2年		○		○	
		オ文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。	3・4年					
		オ文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。	5・6年					
		カ文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。	1・2年				○	
		カ文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。	3・4年					
		カ文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。	5・6年					